

「きらりと光るまちづくり」

第5次日野町総合計画（案）概要

2012 - 2016

きらりと光るまちづくり
♡ひのちよう

計画の基本方針・期間

第5次日野町総合計画は、行政だけでなく町民の皆さん、団体、企業などまちを支える皆さんが、この目標を共有し、より住み良いまちづくりの実現を

目指すものです。本町発展の中短期展望に立った町政振興のための基本目標として、平成24年度から平成28年度までの5年間を計画期間としています。

まちづくりの基本目標・まちづくりの理念

人口の減少に歯止めがかからず、さらなる人口の減少が予想されます。このため、一人でも多くの若者が定住し、生まれる赤ちゃんが増え、子育てしやすいまちにすることが最大の課題です。他町にないまちの魅力を生かした「きらりと光る」

まちづくりを展開し、若者や子供たちが、住んで魅力あるまちにしていくとともに、美しい自然環境の中で「安心・安全、健やか」な暮らしが実感できるまちづくりを目指します。

まちづくりの方向性

1. 一人でも多くの若者・子供たちが住むまち

まちを維持していくためには、一人でも多くの若者が住み、子供が誕生するまちづくりを目指すこと

が必要です。

2. 住民自身が考え実行するまち

これからは、住民自身が考え、決定、実行していく地域主権、住民主導のまちづくりを進めると共に、

行政は、それをしっかり支えていくことが、これからのまちづくりに必要です。

3. 地域資源が光るまち

地域資源を生かした産業振興・まちの活性化を図り、心豊かに暮らせる生活スタイル、「田舎暮らし」に、地域の知恵や創意を生かして、子供から高齢者

まで、特に若者が住んでみたい「きらりと光る」まちづくりを進めることが、元気なまちづくりに必要です。

1 産業 観光

魅力ある地域資源が輝きを
増す地域・産業づくり

農林業、商工業において、地域資源と地域産物を生かしたブランド化「これが日野町の地場産業」と言える物づくりを推進し、情報通信を活用して、全国に販売促進するとともに、住民が地元の産物に愛着を持ち、また地元の商店や工場等を大切に、地域みんなで支えていく産業づくりを推進します。

【基本計画】

(1) 地域資源と地域産物を生かした物づくりの推進

■農業：耕作放棄地の解消や、中核的な担い手、新規就農者など農業後継者の支援・育成に努めます。また、おいしい米やもちのブランド化など、特産品振興による所得向上を推進します。

■畜産業：家畜導入奨励事業や和牛改良、日野和牛のブランド化などを推進します。

■林業：路網整備の推進をはじめ、さまざまな事業を活用した計画的な施行の推進、また、木工芸品づくりやシイタケ栽培等、山林資源を生かした取り組

みを推進します。

■水産業：アユ釣りの観光資源化や、水資源を生かした淡水魚などの養殖と飲食店での活用推進に努めます。

■商工業：商工会と連携を図りながら、融資制度の活用等により、地場産業の育成に努めるとともに、地域資源・まち並み景観を生かした魅力あるまちづくりと商業振興に努めます。

(2) 観光振興および地域ブランド化の促進

■観光：自然や史跡、文化など地域資源を生かした取り組みの推進、情報発信に努めます。また、これらの観光資源を点から線につなぐ連携した活動を推進し、さらには住民の皆さん自身がガイド役となって、訪れる人との交流がさらに促進されますよう支援に努めます。

■地域ブランド化：すでに全国的に知られている金

持、オシドリネーミングをはじめ、日野町の歴史、文化、自然、地域をアピールするブランド化を推進し、地場産業の振興に生かすよう努めます。

■名物料理の提供：ソバなど地域の食材を生かした郷土料理の普及開発に努め、また、地域に訪れる観光客を、町内の飲食店や交流センターなどと結び付けて、飲食産業の振興に努めます。

(3) 情報通信を活用した全国展開の促進

■インターネットを活用して、本町の魅力ある観光情報、地域資源情報を全国発信するとともに、町内

の産物やブランド化商品のネット通販の促進にも努めます。

(4) 地元の産物や商店を大切にする地産地消の促進

■移動車両販売による高齢者等の買い物支援を推進するとともに、地産地消、さらに今ある商店や地元

企業を大切に、みんなで守り育てる意識の高揚に努めます。

